

海上の森自然観察会

日時 2013年4月20日(土)10:00~14:00(曇り)

参加者 一般4名(子ども0)、指導員:8名

今日は二十四節気の「穀雨」ですが、夕方までは天気もつとの予報でした。

ハルリンドウを見ようと、四ツ沢から三角点に登り、屋戸湿地から赤池を回り、海上の里のサテライトに向かうコースをとりました。

今年は、桜の開花が早かったように、海上の森の花も全般に早く開花したようで、四ツ沢に向かう途中のオオカメノキは既に散っていました。コバノミツバツツジ、マルバアオダモ、ウワミズザクラ、シュンランなどを見ながら、三角点に向かいました。運が良ければギフチョウが現れるかと期待しましたが、曇天で気温も低かったせいか、キチョウなど他のチョウも姿を見せませんでした。陽ざしがなくハルリンドウの花が開いていないのではないかと心配していましたが、きれいに開いた花がたくさんありました。よく見ると、花の色が微妙に違ってきます。花の中のおしべとめしべを見て、自家受粉を避けるしくみを桜井さんが解説してくれました。近くのシデコブシは既に花は終わっていました。



(観察会のようす)

夏鳥として飛来したセンダイムシクイの声を聞きながら、赤池まで行って昼食にしました。

その後、オオウラジロノキをはじめさまざまな花を見ながらサテライトに向かいました。その近くで、今ではあまり見られなくなったミミナグサの花を見つけました。サテライトでの休憩後、ザイフリボクの花を見て、帰りました。今日は天候のせいか、テーマとした虫はほとんど見られず、春の花見の観察会となりました。

(報告:齋竹善行)

<観察できたもの>

野鳥:ウグイス(声)、センダイムシクイ、キビタキ(声)、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、コゲラ、カワラヒワ、シジュウカラ、ツバメ、カルガモ、ヤマガラ、カケス、サンショウクイ(声)、ヤブサメ(声)、ホオジロ、キジバト、オオルリ、昆虫:シロシタホタルガ(幼虫)、キマダラカミキリ、その他:モグラ(死体)

花:コバノミツバツツジ、マルバアオダモ、アセビ、スマレ、ニョイスミレ、ニオイタチツボスミレ、タチツボスミレ、クサノオウ、ムラサキサギゴケ、セイヨウタンポポ、タネツケバナ、ミツバアケビ、スルガテンナンショウ、フジ、チゴユリ、シュンラン、ヤマザクラ、ヤブツバキ、コバノガマズミ、ハルリンドウ、シキミ、サルマメ、クロモジ、オオカメノキ、ヤブタビラコ、ニガイチゴ、サルトリイバラ、アオキ、ニガイチゴ、ニホンタンポポ、ミヤマガマズミ、オオウラジロノキ、スノキ、マキノスミレ、ノミノフスマ、ハコベ、ネコノメソウ、オランダミミナグサ、ミミナグサ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、ミツバツチグリ、ヘビイチゴ、スズメノヤリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、アケビ、オオイヌノフグリ、コメツブツメクサ、ナズナ、オオジシバリ、ニガナ、ハハコグサ、キツネノボタン、シャガ、ハルジオン、ヤマウグイスカグラ、ザイフリボク、蕾:モチツツジ、カマツカ、サワフタギ、タンザワウマノスズクサ



ハルリンドウ



シュンラン